

ある時は力強く、ある時は繊細に... 若きギタリストの華麗なる演奏



ギタリスト 村治佳織さん

デビュー以来、「天才ギタリスト」と注目され続け、今や日本ギター界の若き至宝。幼い頃からギタリストの父・村治昇氏や、福田進一氏に学び、92年のレオ・ブローウェル国際ギター・コンクール、東京国際ギター・コンクールでそれぞれ史上最年少優勝。高校卒業と同時にパリへ留学、2003年にはイタリア国立放送交響楽団とトリノやフィレンツェで公演。世界を舞台に、精力的な演奏活動を行っています。



Q ギターを始められたきっかけ、そして学生時代の思い出を教えてください。

A 父がギター教師で、物心つく前から父の弾くギターを聴いていました。2才の頃から自然に私用の小さなギターを触り始め、そして3才の

頃に、両手を使ってギターを弾けるようになりました。小・中・高は音楽学校ではなく、普通の区立や私立の学校に通っていたので、時に学校

の勉強とギターや音楽の練習の両立は大変でしたが、友人にも恵まれましたし、楽しい学生時代を過ごすことができました。

Q 村治さんにとってギターの魅力とは？

A 指先に神経を注いで出す様々な音色の変化は、ギターの魅力のひとつです。現代のギター自体の歴史はそれほど古くないのですが、ギターという楽器はフラメンコ、ロック、ポサノヴァなど様々なジャンルで親しまれているので、クラシックギターを使って、違ったジャンルにも挑戦しやすいというのも魅力だと思います。

Q 村治さんのコンサートは視覚的にも楽しめるかと好評ですが、何か工夫されていることはありますか。

A 衣装は自分が好きなものを選んで着ています。時おり、一部と二部で衣装を変えて違う雰囲気を出すこともありますね。それから演奏だけでなく、曲と曲の間で少しお話をし、お客さんとのコミュニケーションを取ることも行っています。

Q 和歌山県の「熊野古道」とスペイン国ガリシア州の「サンティアゴの道」は姉妹提携を結んでいます。「サンティアゴへの道」をアルバムに収録されていますが、「熊野古道」について何か思いはありますか。

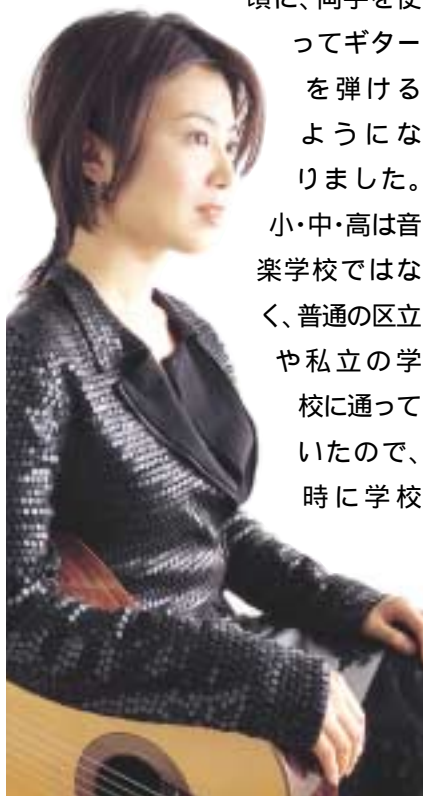
A 実際に熊野古道へ行ったことはないのですが、高い木々がきれいに並び、長い歴史のある静謐な空間なのではと想像しています。

Q 7月15日の和歌山県民文化会館でのリサイタルに対する意気込みと聴きどころを教えてください。

A みなさんにとって聴きなじみの曲や、そうでない曲などを織り交ぜて、ある時は力強く、ある時は繊細に変化していく音楽を弾きたいと思っています。

Q 今後、どのような活動を展開したいとお考えでしょうか。

A まだ自分自身のギター曲のレパートリーを固めず、いろいろな曲に挑戦していきたいと思っています。これからも応援よろしくお願いたします。



写真提供：ユニバーサルミュージック株式会社 撮影：立木義浩

和歌山県 文化表彰 受賞者

和歌山県文化表彰とは和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。

平成16年度 文化功労賞

植物研究家・民俗学研究者

かしましげき
榎山茂樹氏



大正7年9月1日生まれ。和歌山県師範学校専攻科卒。南方熊楠記念館常務理事。田辺市南方熊楠顕彰連絡協議会委員。守口市熊楠フォーラム参与。上富田町文化財審議委員。中辺路町文化財審議委員。和歌山県観光ガイド専門委員。将来世代国際財団京都フォーラム会員。

和歌山県が生んだ偉人『南方熊楠』をはじめ、郷土文化や様々な植物の研究を長年続けている榎山茂樹さん。小学1年生の時に海辺の植物標本を作ったそうです。父嘉一さんと親交があった熊楠翁に勧められたことが、採集生活の始まり。熊楠翁は眼光鋭く、凡人ではないと感じたとか。「好きなことを一生懸命にやり続けることが大切」と幼い榎山さんにもきちんと対応し、褒美にももらったサイン入り絵本は榎山さんの宝物です。

小中学校の教諭・校長を務めながら独自の研究を継続。生前の南方熊楠を知る数少ない貴重な存在で、皇室方の県下訪問の際には、解説や案内役を務めました。榎山さんの膨大なコレクションは貴重な資料で、全

国の著名な熊楠研究者やメディア関係者が今も私邸を訪れるそうです。地元新聞に1000回以上わたり熊楠翁の紹介文を掲載し、後の「南方熊楠記念館」建設に大きな役割を果たしました。また「南方熊楠友の会」を全国組織で結成し、「番所山通信」を発刊、熊楠翁の業績を県内外に広く知らしめました。

熊楠翁は「自然や環境をありのままの姿で見つめていくと、いろいろな新しい発見がある。それは創見であり、そこには喜びがある」と語り、教育者であった父から「植物は生えている場所で見ることが一番勉強になる。環境を見渡す力が備わり、自然を大切にす

著書 南方熊楠先生小伝(一)(二) 番所山通信



田8000㎡に熊楠翁ゆかりの植物を集めて育て、上富田町の「大賀ハス園」の開園にも尽力しました。「今後も郷土の豊かな自然を大切に守っていき」と熱く語ります。



南方コレクション満載の書斎



菌根ランド「虫瘻 ちゅうえい」のスケッチ

平成16年度 きのくに技能奨励賞受賞者紹介

生活のワンシーンに
美しい染織品を提案したい

工芸(染織)
たなかのりこ
田中紀子さん



作品制作の中で「糸を染める」「織る」という2つの工程は、自分だけの世界に没頭できる大切な時間...と田中さん。今までの受賞は作品に対する評価だったので、今回の報を聞いた際は「正直戸惑った」そうです。海外に出品することも多く、特にヨーロッパはタピストリー(絵画風の織物)に

馴染みが深いので、展覧会に出品すると興味深く接してもらえとか。今後の目標は、「私たちの身近なところで使用したり楽しんだりできる染織品を発表すること」と、「まだ実現していない海外での個展開催」。日本でも有数の染織家として、今後ますますの活躍が楽しみです。

昭和20年みなべ町生まれ。昭和52年に日展初入選。以後、26回入選を果たし、平成11年の第31回日展では特選を受賞。日本各地で作品展を開催する他、海外の展覧会にも意欲的に出品。また、県内の美術文化向上のために後進の育成にも尽力中。

平成17年度優秀映画鑑賞推進事業

9/9
FRI 金

名作シネマシアター

関西元気文化圏参加事業



開演 / 午前10時(開場 / 9時半) 場所 / 県民文化会館(大ホール)
入場料金 / 一般490円・学生及び旧友の会会員350円 一般発売/7月11日(月) 予定

嵐を呼ぶ男

大スター・石原裕次郎のイメージを決定的にした記念碑的な作品。監督の井上梅次は、裕次郎が指を負傷してドラムを叩くことができず、とっさにマイクを握って歌い始めるというツボを押さえた演出で、この一代の大スター誕生を導き出しました。

出演 / 石原裕次郎、北原三枝、金子信雄、芦川いづみ、白木マリほか

悪名

今東光の人気小説を題材にした娯楽映画。喧嘩は強いが情けには弱い、痛快無類の好男子・八尾の朝吉(勝新太郎)の活躍を描きます。勝新太郎と田宮二郎の絶妙のコンビ、威勢のいい河内弁と激しいアクションで話題を呼び、シリーズ化された人気の作品。

出演 / 勝新太郎、田宮二郎、中村玉緒、水谷良重、田中康子ほか

沓掛時次郎 遊侠一匹

戦前からたびたびリメイクされている「沓掛時次郎」。戦後では4作目にあたるこの作品は、屈指の名作とし

て知られています。気のいいやくざ・身延の朝吉(渥美清)とやくざ志望の若者・昌太郎(岡崎二郎)のエピソードや迫力ある殺陣シーンは必見。

出演 / 中村錦之助、池内淳子、中村信二郎、東千代之介、弓恵子ほか

人生劇場 飛車角と吉良常

尾崎士郎の名作「人生劇場」のうち、「残侠篇」に焦点を絞って巨匠・内田吐夢監督が演出。青春の悩み、男女の愛憎、男の侠気などを、力感と格調に溢れた演出で描きます。「任侠映画」のジャンルにおいて、一時代を画した俳優たちの顔ぶれにも注目。

出演 / 鶴田浩二、高倉健、若山富三郎、藤純子、中村竹弥ほか



嵐を呼ぶ男



悪名



人生劇場 飛車角と吉良常



沓掛時次郎 遊侠一匹

第33回和歌山県新人演奏会 オーディションの結果について

6月12日(日)に実施しました「第33回和歌山県新人演奏会オーディション」の結果、申込者33名のうち下記の15名が合格しま

した。合格者は年9月19日(月・祝)に和歌山県民文化会館大ホールで開催します「第33回和歌山県新人演奏会」に出演します。



昨年の和歌山県新人演奏会から

合格者一覧表			
名前	種別	出身地	
吾妻 優子	ピアノ	大阪芸術大学大学院在学中	東牟婁郡那智勝浦町
岩本 愛子	ピアノ	京都市立芸術大学卒業	和歌山市
岩本美恵子	ピアノ	神戸女学院大学卒業	有田郡金屋町
上野 大祐	ホルン	大阪音楽大学卒業	和歌山市
佐古 渚	ピアノ	相愛大学卒業	有田郡金屋町
塩路 雅美	マリンバ	大阪音楽大学卒業	御坊市
竹友 千恵	ピアノ	東京芸術大学卒業	那賀郡岩出町
辻 崇志	トランペット	武蔵野音楽大学卒業	伊都郡高野町
名前	種別	出身地	
中野 綾	声楽	大阪音楽大学音楽専攻科修了	御坊市
西井 幸子	ピアノ	相愛大学卒業	有田郡吉備町
班 文林	作曲	和歌山大学大学院修了	中国
東 明良	声楽	大阪芸術大学大学院修了	日高郡みなべ町
村上 理恵	作曲	和歌山大学大学院在学中	島根県
湯川 紗代	フルート	相愛大学音楽学部専攻科修了	海南市
吉田 紗知	ピアノ	名古屋音楽大学卒業	西牟婁郡上富田町

(氏名:五十音順)

今ここに響く勇壮で華やかなメロディー

9月25日「ボヘミア・オペラ」

「カルメン」

SUN 日

関西元気文化圏参加事業



開演 / 午後3時(開場 / 2時半) 場所 / 県民文化会館(大ホール)
 入場料金 / S席11000円・A席8000円・B席5000円
 チケット発売中 学生・団体割引あり

熱く情熱的な踊りと歌声が響く、最高傑作オペラ「カルメン」。歴史と伝統に彩られたチェコ・ボヘミア地方の都市・プルゼーニュが世界に誇る「ボヘミア・オペラ」が、その魅力を余すところなくお届けします。熟練のソリスト陣、美しく迫力あるコーラス、しなやかなオーケストラ…。誰の胸にも迫ってくる『「カルメン」の決定版」ともいうべき演目をお楽しみください。「カルメン序曲」「恋



は野の鳥(ハバネラ)」「闘牛士の唄(トリアドル)」「ジプシーの歌」など、物語にちりばめられたドラマティックな名曲も見どころのひとつ。

STORY

舞台はスペインのセビリヤ。真面目で純朴な衛兵ホセは、自由奔放なジプシー女カルメンの危険な魅力に心を奪われます。ついに職務さえ忘れて罪を犯し、ジプシーの密輸団に入るホセ。ところが当のカルメンは花形闘牛士エスカミーリョに夢中。ホセはカルメンによりを戻すよう懇願しますが…。待ち受けるのは幸福か？それとも絶望か？世界中で愛される大人気ドラマティック・オペラをご堪能ください。

全4幕・原語上演・日本語字幕付き
 管弦楽:チェコ国立プルゼーニュ歌劇場管弦楽団
 合唱:チェコ国立プルゼーニュ歌劇場合唱団
 芸術監督:ヤン・ズバヴィテル
 首席指揮:イジー・シュトルツ



Check It Out

Point 1 「恋は気まぐれな野の鳥のようなもの」と、官能的に響くカルメンのハバネラをはじめ、「カルメン序曲」「ジプシーの歌」など、心浮き立つリズムと思わず口ずさんでしまう魅力的なメロディーの名曲は必聴!

Point 2 「ボヘミア・オペラ」は、芸術の国チェコでベストステージ賞を受賞し、中東欧で注目を浴びる歌劇場。個性的な歌手陣、力強いコーラス、高い技術を誇るオーケストラで、作品の持ち味をたっぷりと表現します。

PLAY GUIDE プレイガイド

和歌山県民文化会館	☎073(436)1331
宮井平安堂	☎073(431)1331
近鉄カルチャーセンター	☎073(421)7123
カインレコード	☎073(483)5039
粉河ふるさとセンター	☎0736(73)3312
かつらぎ総合文化会館	☎0736(22)0303
県立橋本体育館	☎0736(32)9660
御坊市民文化会館	☎0738(23)4881
紀南文化会館	☎0739(25)3033

ローソンチケット ☎0570(00)0403
一部お取り扱えないものもあります (電話予約)

名作シネマシアターについては和歌山県民文化会館、宮井平安堂、近鉄カルチャーセンターのみの発売となります

ホームページからも チケット購入OK!

携帯電話からもOK!

<http://www.wacaf.or.jp>

県民文化会館や片男波公園のイベント情報、施設情報などが満載。またメールマガジンに登録された方には主催イベント情報のメール配信も随時。公演チケットの購入もWEB上でできます。

主催公演チケット申し込み手順

<http://www.wacaf.or.jp>へアクセス

[主催イベント一覧]を選択

イベント・申し込み席数の選択

確認・送信

送信確認メールが届きます

後日、事務局より確認の連絡があります

確認終了後、支払期日・方法などをお知らせします

お支払い・チケット購入終了

和歌山

名品

wakayama
Traditional Craft
Theatre

劇場

保田紙

清水町

和歌山の奥深い伝統工芸品を見て、触れて、体験して、その魅力を再発見!



紀州徳川家初代藩主・徳川頼宣がお国入りした際、藩の産業を振興するために製紙を命じました。白羽の矢が立ったのは、藩内で一番若い大庄屋である山保田の笠松左太夫。創業に必要な道具や製法を吉野へ見学に行きましたが、土地の特産物であったため絶対に教えてくれませんでした。左太夫はいったん帰国して妙案を練り、美男子3人を選んで再度吉野へ。美男子3人は紙のすけるお嫁さんを連れて帰り、苦勞の末に製紙を実現させたのです。「保田紙」の

名は全国に知られ、和紙の里を多くの方が訪れるようになりました。

1953年の有田川大水害で用具一式が流され、和紙の生産は途絶えましたが、79年に「高齢者生産活動センター」のオープンとともに復活。地元のおばあちゃんたちが製品を作り、また伝統の紙すきの体験の指導にあたっています。

手すきならではの生成の色合い、そして驚くほどの強さを持つ保田紙。優しくてあたたかみのある紙すきを体験してみてください。



清水町高齢者生産活動センター

- A 有田郡清水町清水1207 N0737-25-0621
- B 午前8時30分～午後5時(受付時間)
- Z 紙すき体験1人400円
(土日祝は1人500円・送料別)
1週間前までに予約が必要。平日は1人以上、土日祝は5人以上

体験レポート



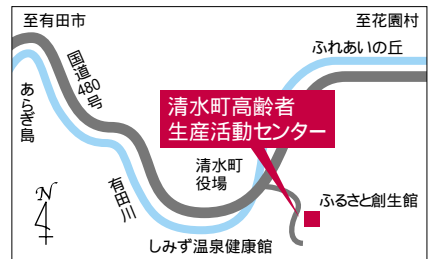
1 紙すきワクで紙料液をすくい取ります。軽く前後・左右にワクを動かし、ほど良い厚さで均等に紙をすきあげます。



2 丁寧にワクから紙をはがします。「素直な気持ちで心を落ち着けて」というのが上手く仕上げるコツだとか。



3 天日干しされた後、自分の作った保田紙が送られてきます。早速「和歌山」って書いてみました。



世界遺産を辿る

高野山の夏の風物詩 万燈供養会 (ろうそく祭り)

【開催場所】一の橋～奥の院 【日時】8月13日(土)
A 高野町高野山 [高野町青少年団体連絡協議会 N0736-56-2076

聖地高野山で開かれる恒例の夏祭り。一の橋から奥の院までの参道脇に眠る歴史的な人物や数十万の霊を供養する祭事で、約10万本のローソクが供えられ、あたりは幻想的なムードに包まれます。

山々が夕闇を迎える頃、千年の昔から絶えることなく高野山に伝わる「貧女の一燈」から点火した大松明が伽藍を出発。厄年の男性十数名で一の橋まで運ばれた松明の火を、参拜者がローソクに灯し参道に立てるの



ローソクの灯りが光の川となり、墓石群や杉木立が浮き上がります

が慣わしです。灯火が参道を埋め尽くした後、奥の院では万燈供養会(白法要)が営まれ、祭りはクライマックスを迎えます。

よさこい踊りで和歌山をより元気に!
紀州お祭りプロジェクト実行委員会



去年実施された総踊りには、約1000人が参加。踊り子だけでなく観客も参加し、壮大な大乱舞に。今年も「おどるんや2005～第2回紀州よさこい祭り～」と題して7月23日(土)、24(日)に開催されます



今年、実行委員会のパレードの先導車「地方車」は3台から7台に。参加チームによる地方車も8台登場し、より華やかに



実行委員会のメンバーは約40人。NPO団体や地元企業をはじめ、学生や主婦など、地域のさまざまな人々が参加しています

和歌山は必ず変わる! 活力ある和歌山の街づくり、人づくりを目指す「紀州よさこい祭り」。この祭りを支えるのが実行委員会の皆さんです。「祭りづくりのコンセプトは“参加、交流、感動”。誰もが自由に参加できる祭りに」と皆さん。踊り、音楽、衣装など、各チームのバリエーションが魅力のよさこい踊り。今年は、オリジナルの曲や振り付けに取り組むチームも増えているそうです。実行委員会では今年2月に、オフィシャルチームを結成。曲、振り付け、衣装デザインを和歌山在住のアーティストが担当。県外イベン

トに参加して、和歌山と紀州よさこい祭りをピーアールしています。「第1回の開催後、協力の声が増えるなど、街が少しずつ変わってきているのを感じています。皆“和歌山を元気にしたい”という思いは同じ。一緒に楽しみながら夢中になれる祭りを作っていければ。今年は、世界遺産登録を機に、和歌山の魅力をさらにアピールしたい」と話します。第2回は、7月23日(土)、24日(日)に開催。県内外から47チームが集まり、内容・質ともにバージョンアップされるので、ぜひ訪れてみては、



漁師町ならではの
生きてる魚をつかもう!
和歌山市立加太幼稚園

ビニールプールに放たれた魚たちを懸命に追いかける子どもたち。加太幼稚園で毎年恒例の「魚つかみ」。保護者や地元の漁師、地域有志の協力により例年行われています。足元を泳ぐいろんな魚やタコ、伊勢エビに子どもたちは興味津々。最初は怖がっていた子も、知らない間にプールに入って魚をつかもうと



していました。「ヌルヌルする」、「サバはシャバシャバ」と子どもたちの感想。タコがはいたスミにビックリする子も。でも、すぐコツをつかんで、子どもたちのバケツは魚でいっぱいになりました。

和歌山の昔話

仁王さんの話



昔、名草郡三葛の里に『仁王』という名の大男がいた。「我こそは日本一の力持ちや」と自慢していましたが、唐の国に『ドッコイショ』という名の力持ちの話を聞き、舟に乗って唐へ戦いに行きました。ドッコイショの家を訪ねると母親が「もうすぐ帰りますよ。ほれ、丘の上に頭が...」と答え、仁王の3倍はありそうなドッコイショの頭が現れたのです。仁王はビックリし、逃げるが勝ちと一目散に舟に飛び乗りましたが、ドッコイショは舟に鉄の鎖を打ち付け、引

き戻そうとしました。仁王は名草のお寺の観音様を思い出し「南無観世音菩薩...」と祈ったところ、金色に輝く鉄の棒が落ちてきました。それで鎖を8回こするとパチンと切れ、仁王は命からがら日本へ帰ることができたのです。仁王はやがて観音様の門番になりました。それから8回こすって鎖を切った鉄の棒は「やすり」と名づけられ、また重いものを掲げる時は力持ちのドッコイショにあやかり「どっこいしょ」とかけ声をかけるようになったそうです。

参考文献 / かたりつづわやかまの民話(和歌山県老人クラブ連合会)
絵 / 迫間ゆみこ 協力 / わかやま絵本の会

カルチャー・インフォメーション

和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館・
熊野古道なかへち美術館共同企画展

特別展「夏休み わかやま美術探偵団」

和歌山県立近代美術館
T 073(436)8690
日程:7月16日(土)~
9月4日(日)
開館時間:午前9時半~午後5時(入
館は午後4時半まで)
休館日:月曜(祝日の場合は翌日)
料金:一般500円、大学生300円
高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料



大亦新治郎《住吉橋》1913年 鉛筆、紙
和歌山県立近代美術館蔵

田辺市立美術館
T 073(24)3770
日程:7月2日(土)~
9月4日(日)
開館時間:午前10時~午後5時(入
館は午後4時半まで)
休館日:月曜(祝日または振替休日
の場合はその翌日)
料金:一般300円、大学生150円
高校生以下・65歳以上・毎週土曜は小中学生に同伴する保護者や指導者の観覧料は無料

熊野古道なかへち美術館 T 073(65)390
日程:7月16日(土)~8月7日(日) 8月11日(木)~9月4日(日)
開館時間:午前9時半~午後5時(入館は午後4時半まで)
休館日:月曜(祝日の場合はその翌日) 料金:一般210円、大学生150円
高校生以下・65歳以上の方は無料

夏休み期間に行われる特別展。「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録を記念して県内の3つの美術館のコレクションを中心に美術家と作品の旅をたどるもので、今から80年以上も前の時代の美術の世界を「探偵」する共同企画展です。

和歌山県立紀伊風土記の丘 T 073(471)6123

速報展「紀州の歩み 和歌山県文化財センターの成果」

7月2日(土)~9月11日(日)
昨年度、和歌山県文化財センターが実施した県内の最新の発掘調査や文化財建造物の修理などの成果を展示します。
P午前9時半~午後5時(入館は午後4時半まで) C月曜(祝日の場合は翌日)
Z一般170円・大学生80円 高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料

和歌山県立自然博物館 T 073(483)1777

特別展「ゾウムシの世界」 ...ゾウムシの多様性と紀伊半島の特異性

7月20日(水)~8月31日(水)
ゾウムシの多様性と紀伊半島の特異性を紹介します。
P午前9時半~午後5時(入館は午後4時半まで) C月曜(祝日の場合は次の平日) Z一般460円 高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料

第59回和歌山県美術展覧会「県展」

県民の美術作品に対する創作意欲を盛んにして、和歌山県における美術文化の向上と発展に資するために開催します。部門は、美術(洋画、日本画、書、写真、工芸、彫塑、華道)です。応募方法や締切については下記にお問い合わせください。
問い合わせ/T 073-433-7124(和歌山県美術展覧会実行委員会)・T 073-441-2052(和歌山県知事公室文化国際課)

300年の文楽史上初の現地公演 「古典芸能のまち」日高川町発足記念 文楽『日高川入相花王』道成寺公演

道成寺特設舞台
T 0738(22)2041
(おいでよ!日高実行委員会 日高川町
役場商工観光課内)
T 0738(22)0543(道成寺)
ホームページ <http://www.dojoji.com>
日時:9月3日(土)
午後6時開演(午後5時開場)
料金:S席5000円、A席3000円
(7月20日発売開始)
発売場所:日高川町商工会、道成寺、
和歌山県民文化会館プレ
イガイド、おいでよ!日高
実行委員会事務局(日高川
町役場商工観光課内)



【演目】二人三番叟、解説、日高川入相花王渡し場の段
【出演】豊竹咲大夫(太夫) 鶴澤燕二郎(三味線)
吉田義助(人形=人間国宝)

今年5月1日、川辺町・中津村・美山村が合併して日高川町が発足したのを記念して行われる文楽公演。安珍と清姫の伝説に基づく文楽の『日高川入相花王』は、数ある文楽作品の中でも屈指の人気曲で、この名曲がその物語の舞台となった日高川町の道成寺で上演されます。300年の文楽の歴史上初めてという歴史に残る公演を、人間国宝の吉田義助師がつとめます。

和歌山県立博物館 T 073(436)8670

企画展「むかしの絵はがき(紀南篇) 喜多村進コレクションを中心に」

7月23日(土)~9月4日(日)
戦前・戦後、郷土史家として活躍した喜多村進が収集したコレクションから、紀南地方の景観を写した絵はがきを展示します。
P午前9時半~午後5時(入館は午後4時半まで) C月曜(祝日の場合は翌日)
Z一般260円・大学生150円 高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料

万葉館 T 073(446)5553

企画展「万葉日本画展~あさもよし紀伊国~」

8月2日(火)まで 前期テーマ『万葉と若の浦』
8月4日(木)~10月2日(日)
後期テーマ『万葉の熊野路と南海道』
和歌山を代表する日本画家・清水達三氏の作品のほか、『りんご会』のみなさんが和歌の浦を日本画で表現した作品を展示します。
P午前9時~午後5時(入館は午後4時半まで) C月曜(祝日の場合は翌日)
Z一般260円・大高生150円・小中学生100円 65歳以上の方は無料

第1期/10月13日(木)~17日(月)[書・華道]
第2期/10月20日(木)~24日(月)[写真・洋画]
第3期/10月27日(木)~31日(月)[彫塑・洋画]
第4期/11月3日(木)~7日(月)[日本画・工芸]
展示会場/和歌山県民文化会館展示室 白浜、新宮、上富田、橋本でも展示



文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行】和歌山県
【発行日】平成17年7月 【編集・問い合わせ】和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)
☎073(436)1331 FAX.073(436)1335
【ホームページアドレス】<http://www.wacaf.or.jp>